会員企業へのアンケート(案)

SICの活動は会員企業の内発的な動機にそのエネルギーの源泉がある。そのエネルギーを引き出すために、SICの目標とする方向性と各会員企業の方向性が適合しているかどうかを不断にチェックすることが必要であると思われる。これをアンケートの形で行うことはすでに一年ほど前に試みられているが、今回は少し問題を絞って設問を行い、SICの今後の活動に結びつけることを試みたい。

SICの活動の以下の３本の柱である。

1. 個々の会員企業のなかで必要とされるシステムを適切に作り上げることを、会員相互の対話助言、あるいは学の支援を受けて行う。
2. 個々の企業を超えた社会システム構築の必要性を掘り起こし、その活動を展望するプロセスで新しいビジネスを展望し、日本の産業構造変革への道を切り開く。
3. システムにかかわる豊富な専門知識をもつシステム構築のスキルと意欲をもつ企業人を育成する。

これを前提として次のような質問を提示する。文章は簡略化されており、もっと説明をつける必要がある。

1. について

（１）貴社は経営、製造、営業などの各部門で多くのシステムが運行されているか？

（２）貴社で運用されているシステムは総じて「よいシステム」と言えるか？

（３）よいシステムを作ろうと努力しているか？

（４）よいシステムを作るために足りないものがあるか？

（５）新しいシステムを作る計画はあるか？

（６）SICでは製造業はサービス業に変化しなければならないと考えているが、貴社はその方向に向けて努力しているか？

（７）日本の企業ですぐ得ている現場力は部分最適化の温床とも思われるが、現場力はどうあるべきと思うか？

1. について

（１）貴社はSICの分科会に参加しているか？

（２）分科会活動に満足しているか

（３）企業、分野を超えた活動に意義を感じるか？

（４）社会システムで日本は遅れていると思うか？

（５）SDGに本気で取り組んでいるか？

（６）ユーザの価値を重視する製品開発に力を注いでいるか？

（７）日本の直面する課題のうちで、その解決にシステム化が重要な役割を演じると思われるものは何か？いくつか挙げて頂きたい。